

えかぶお

54号
2019年

令和元年12月発行



▶ ロース幼稚園児さんが養護老人ホーム小樽育成院で、お遊戯と歌を披露してくれました。手遊びではチームワークばっちりで、はいピース

社会福祉法人 小樽育成院 運営理念

基本的人権の確保と擁護

～人間を大切にするサービスの提供～

利用者様の自立した生活を支援するためのサービスを提供します。

利用者様の生活と生き方を尊重したサービスを提供します。

利用者様中心のサービスを提供します。



発行／ 社会福祉法人 小樽育成院

〒048-2671 小樽市オタモイ1丁目20番18号

TEL: (0134) 28-2500 (代) FAX: (0134) 26-2476

URL: <http://www.otaru-ikuseiin.com> 育成院 検索

社会福祉法人の公益的な活動

イベント



市内の17社会福祉法人で構成された「社会福祉法人懇話会しあわせネットワーク・おたる」(代表 福森和千代・社会福祉法人小樽育成院理事長)の福祉のしごと委員会は11月10日、多くの市民に福祉のしごとと理解と関心を持っていただくため、ウイングベイ小樽1階ネイチャーチャンバーにて、「e-fukushies 2019 in 小樽」こんなことも福祉だった」のイベントを開催しました。

このイベントは昨年に引き続き2回目となるもので、多くの福祉団体や事業者等の参加のもと行われました。

展示ブース、体験ブース、販売ブースの3ブースを設け、展示ブースでは介護ロボット

パラスポーツ体験、販売ブースでは福祉関係の授産製品が販売されました。
また、ゆるキャラ(おたる運がっぱ、うっさん、コギ坊、ソーラン武士、やべーべや、ほくにっち君)たちが来場者をお迎えして楽しませました。



ステージイベント、ゆるキャラも参加し大盛況でした!!



スタッフみんなで記念撮影

ステージイベントにおいては、「動・夢・舞(どんまい)」によるよさこい演奏、「たるBOOK」による絵本読み聞かせ、「クリスタルハーモニー」による車椅子ダンスが披露され、最終のゆるキャラ大抽選会では、多くの来場者が当選発表に一喜一憂し、大い

に盛り上がりました。

また、イベント開催に向けては、複数の法人で構成された若手イベントプロジェクトチームのメンバーにより、本年6月より6回にわたる会議を重ねイベントの企画や準備を進めてきました。本イベントが成功で終了したことに、メンバーは喜びもひとしおでした。

現在、福祉職員の人材不足が叫ばれておりますが、福祉に興味を持っていたく地道な活動がその不足解消につながると考えます。本イベントがその一助となれば幸いです。



事業所・養成校 紹介コーナー



会場の様子、たくさんの方にご来場いただきました

e-fukushies 2019

in 小樽

介護相談フェア



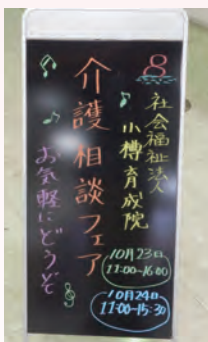
10月23日(水)から24日(木)の2日間、長崎屋の公共広場において、「社会福祉法人小樽育成院介護相談フェア」を開催しました。

今回で11回目となりますが、お買い物に来られた方や広場でくつろがれている方など、多くの方にご来場いただきました。

会場では、養護老人ホーム小樽育成院、特別養護老人ホームやすらぎ荘、オタモイデイサービスセンターの日々の活動の様子や、各施設の居室等の写真をパネルにして、展示しました。

また、気軽に話ができるように、長テーブルや椅子を設け、各事業所のパンフレットなどを配布しました。

次回も、介護について不安を抱えている方や、困っている方の手助けとなれるよう、継続していききたいと考えています。



素敵な看板でお出迎え



市民の相談に応じました



パネル展の様子です

オタモイ盆踊り・花火大会

8月23日(金)、社会福祉法人小樽育成院とオタモイ町会との共催で、「オタモイ盆踊り・花火大会」が開催されました。

連日の雨続きで開催場所の育成院前広場が水浸しになっており、当日も雨予報だったため、やすらぎ荘内に会場を移し開催しました。

玄関前に屋台や縁日を設け、19時10分からわいわい広場にて盆踊りを行いました。櫓の周りを多くのご家族やお子様、入居者様、職員が囲み大変盛り上がりしました。

19時45分からは花火大会が行われ、間近に広がる連発の花火に、大きな歓声が上がっていました。

ここ数年、天候に恵まれておりません……。来年こそは夏らしい天候で「盆踊り・花火大会」を行いたいものです。



美味しそうなフードメニューがたくさん並んでいました



縁日は子供たちに大人気でした



屋内での盆踊り、盛り上がりしました



一生懸命、白玉団子を作っています。いい笑顔です



老いても若きも楽しく過ごして和気あいの笑顔です

養護老人ホーム

小樽育成院

小樽市では少子高齢化や核家族化が進み、9月末現在65歳以上の高齢者の割合は4割を超えており、深刻な問題となっています。これに伴い、子どもたちが高齢者と接する機会が減っています。

そんな中、育成院では毎年、地元の小学生や市内の幼稚園児の訪問を受け入れ、利用者様と子どもたちが交流する場を設けて楽しい時間を過ごしていただいております。

今年も10月に幸小学校の5年生が訪れ、「昔遊び」をテーマにしてお手玉、おはじきをはじめ陣取りゲームや紙相撲大会など、利用者様と生徒さんたちが真剣勝負で盛り上がりました。

同月、ロース幼稚園の年長さんも遊びに来てくれました。園

児たちの可愛らしい姿に利用者様や職員も普段見られないほどの笑顔に包まれました。園児たちの遊戲や歌は好評で、特に「歌遊び」では利用者様が園児とつないだ手を放すのを忘れ、小さな手を握りしめて名残惜しそうにされていました。

どちらも最後は、お礼の歌が利用者様にプレゼントされて、利用者様の目には感動の涙があふれていました。

育成院では、今後も地域との交流を大切にして、社会福祉施設としての役割を担ってまいりたいと思います。

特別養護老人ホーム

やすらぎ荘

特別養護老人ホームやすらぎ荘では、ユニットケアの手法を取り入れて、入居者様の支援をさせていただいております。入居者様を10のユニット（1ユニット10人前後）に分け、一つのユニットは一軒の家と捉え、職員もユニット毎に固定配置され、いつも同じ職員が関わることで、馴染みの関係が築け、いつもと違う些細な変化等にもいち早く気づくことができます。

入居者様からも「明日出勤かい？もう帰るの？お疲れさん」と職員へうれしい声もかけていただいております。お誕生日にはご家族様とユニットの皆様でお祝いをしたり、ドライブや初釜（着物でお茶をたておもてなしをする）、唐門祭りなどの楽

しい行事もあります。

やすらぎ荘の介護スタッフは「気づき」をととても大切にしています。「自分がされたらどうか」「家での生活だったら？」と自問自答しながら、どうしたらできるか創意工夫しています。入居者様の言葉、笑顔が多くなるように、一人ひとりと向き合う関係性の中で「人生の大先輩として敬い、その人の尊厳を守り、最後までその人らしさを大切に穏やかに普通の暮らしを送っていただきたい」そんな思いをもって、これからも心に寄り添えるケアを目指していきます。



小樽市長橋2丁目19番17号 フリーダイヤル 0120-514-294 FAX (0134) 64-7118

オタモイケアプラン センター長橋

オタモイケアプランセンター長橋では、現在5名のケアマネジャーで150名の方の居宅支援を行っています。利用者様・ご家族様の意向をお聞きし、住み慣れた地域で介護サービスを利用しながら、安心して生活が続けられるよう各介護事業所・医療関係者・行政等と連携を図りながら支援に努めております。

介護サービスについて利用の検討をお考えの方がおられましたら、当センターにお気軽にご相談ください。



みんなで記念撮影



リアル野球盤大会をしました



介護予防サポーター交流会の様子

オタモイ デイサービスセンター

9月に利用者様が楽しみにされている外出レクリエーション『秋のドライブ』を行いました。昨年も人気があった仁木の『きのこ王国』へ行って来ました。途中で余市のお寿司屋さんやレストランで外食を楽しみました。

日常生活で外食する機会が少ない方が多く、久しぶりの外食で大変喜ばれていました。食事した後は『きのこ王国』で名物のきのこ汁を頂き、秋の季節感を味わいました。店内で買い物されたり、アイスクリームを食べたりしてあっという間に時間が経ってしまいました。帰路の車内では「皆さんとこうして外出することは楽しいですね。」とお話されていました。

皆様から「楽しかったよ、ま

た行きたいね」や「家族におみやげが買えて良かった」などの意見が聞かれました。これから年末年始に向けて「餅つき会」や「クリスマス会」など、利用者様に、楽しんで参加していただけるよう、企画してまいります。

【お詫び】

施設設備の故障により、令和2年1月末をもちまして事業休止させていただくこととなりました。

ご不便、ご迷惑をお掛けしますこと心からお詫び申し上げます。

小樽市北西部 地域包括支援 センター

北西部地域包括支援センターでは、平成28年度から、圏域内の地域のボランティア「介護予防サポーター」の方を対象とした「北西部圏域『介護予防サポーター交流会』」を開催しています。

現在、圏域内には7つの『シニア元気教室（地域版介護予防教室）』があり、各教室合わせて54名のサポーターが、教室運営を担っています。

平成30年度からは、この交流会を第2層（北西部圏域）生活支援体制整備協議会に位置づけ、高齢者の地域での生活を支える関係者の「定期的な情報の共有・連携強化の場」とするとともに、この協議会で出た地域課題や意見は、小樽市への提案へとつなげていきます。

介護予防サポーターなどボランティアに興味のある方やお問い合わせは、下記までお問い合わせください。

1月 January

育成院 獅子舞・新年パーティー・新年交礼会
やすらぎ 獅子舞・初釜・新年交礼会



初釜では獅子舞が現れ、厄払いをします

2月 February

育成院・やすらぎ荘 節分、雪あかりの路
地域包括 地域包括支援センター運営協議会



毎年恒例の雪あかり、
今年は猫バスが出現しました

3月 March

法人 理事会
育成院 お茶会
やすらぎ ひな祭り・生寿司



季節のうつろいを感じながら
お茶会を楽しんでいます

4月 April

育成院 喫茶「えがお」(毎月)
やすらぎ 茶話会(毎月)
地域包括 事業所向け広報紙「ニコリティ」
4月、8月、12月発行



広報紙「ニコリティ」4月、8月、12月発行

令和2年

社会福祉法人小樽育成院で
実施予定の主な年間行事

1月
~4月

編集後記

サン・テグジュペリは『星の王子さま』の中で「大人はだれも、はじめは子どもだった。しかし、そのことを忘れずにいる大人はいくらもない」と書いています。

歳を重ねること、子どもの頃に抱いた憧れや想い、感性は失われていつてしまふのでしょうか。私も娘達に対し、自分の価値観や考えを押し付けてしまつてことがあります。

「ものは心で見える。肝心なことは目では見えない」と、物語の核心に触れるフレーズをキツネが話す場面があります。サン・テグジュペリがフランス空軍に入隊し、偵察機を操縦したとき、サハラ砂漠に不時着して死にかけており、砂漠を彷徨ったときの経験が反映されていると思われるます。

誰もが自分の意思をもった一人の人間です。

五十路のおじさんは、毎朝、「大人はだれもはじめは子どもだった」と呪文を唱ながら、個人の価値観や考えだけでなく、目に見えること表に現れていることだけでなく、相対している方の意思をしっかり受け止めることが必要だと考えています。

(T・Sのこぶやき)